

PRESS RELEASE

2022年5月13日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町二丁目1番地
会社名 そせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証グロース)
代表者 代表執行役社長 CEO
クリストファー・カーギル
問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー部
西下進一郎
電話番号 03-5210-3290 (代表)

2022年12月期第1四半期(1月-3月) ビジネスハイライトおよび連結業績について

当社グループは本日、2022年12月期第1四半期(1月-3月)における事業の概況および連結業績を発表しましたので、お知らせします。2022年12月期第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)全文は[こちら](#)をご覧ください。

当社代表執行役社長 CEO であるクリストファー・カーギルは次のように述べています。「2022年、当社グループは新たな飛躍の時を迎えています。我々は、内部成長戦略とオペレーションを進化させ、人材と研究開発力を大幅に強化する軸を据えました。新経営体制の発足と、Verily社やWeatherden社などの革新的なパートナーとの共同研究により、アジャイル開発モデルを採用、世界最先端の創薬・トランスレーショナルリサーチ機能を持つ研究開発チームを英国に作り上げ、複数の臨床段階のパイプラインを持つ企業への移行を加速します。我々の目標は、最高のプログラムをフェーズ1b/2a試験に進め、コスト効率よく臨床コンセプトを実証(POCの取得)し、患者さまが必要とする医薬品をできるだけ早くお届けできるようにすることです。また、英国の研究開発活動によりこれらの成長プランを進捗させることに加えて、創薬テクノロジーへの投資、日本の患者さま向けの製品の確保、戦略的買収などを通じ事業拡大の機会を追求してまいります。」

2022年12月期第1四半期(1月-3月) ビジネスハイライト

- **当社グループの次のステージへの発展に向けた新経営体制を発足** — 現在の強みをさらに強化し、創薬・開発における業界最高レベルの企業を目指す：
 - クリストファー・カーギルが代表執行役社長 CEO に就任
 - 田村眞一は取締役として取締役会会長に専念
 - マット・バーンズが Heptares Therapeutics Ltd. 社長兼英国研究開発ヘッドに就任
 - 野村広之進が CFO に就任 (前シニアヴァイスプレジデント、IR & コーポレートストラテジー部長)

PRESS RELEASE

- キーラン・ジョンソンが CAO（チーフ・アカウンティング・オフィサー）に就任（前シニアヴァイスプレジデント、グループ・ファイナンシャル・コントローラー）
- 吉住和彦は CCO（チーフ・コンプライアンス・オフィサー）、安井忠良は執行役、株式会社そせい代表取締役社長に再任
- マルコム・ウィアー氏、ティム・タスカー氏は執行役を退任し、当社顧問に就任
- **Verily 社との新規戦略的研究開発提携** – Verily 社の持つ免疫プロファイリング能力と、当社グループの持つ GPCR 構造ベース創薬技術を集約し、免疫疾患に対する新薬候補の創出を目指す

2022 年 3 月 31 日以降のハイライト

- **Weatherden 社との戦略的提携によるアジャイル開発の導入とトランスレーショナル・メディシン機能の強化** – 複数のプログラムの優先順位付けと開発の加速により、迅速なフェーズ 1b/2a 試験での臨床コンセプトの実証（POC の取得）を目指す。臨床コンセプトの実証は将来の提携の推進と成長機会の拡大に資する価値創造のための重要な転換点

2022 年 12 月期第 1 四半期（1 月-3 月）の業績ハイライト

- 売上収益は、前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）比 88 百万円減少し、1,119 百万円となった。これは主に、当第 1 四半期連結累計期間のマイルストーン収益は、主に、前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）に 2 件のマイルストーンを達成した一方、当第 1 四半期連結累計期間には 1 件のマイルストーンを達成したことにより減少。
- 研究開発費は、前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）比 597 百万円増加し、1,804 百万円となった。これは主に、当社グループが独自で行う創薬及び初期開発への投資の増加、及び医薬品の開発を加速させるための構造改革費用によるもの。
- 一般管理費は、前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）比 379 百万円増加し、1,354 百万円となった。これは主に、医薬品の開発を加速させるための構造改革費用によるもの。
- 営業損益は 2,206 百万円の損失（前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）は 1,238 百万円の損失）となった。営業損失が増加した主な要因は、上述の営業費用の増加によるもの。
- 四半期損益は 2,070 百万円の損失（前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）は 1,153 百万円の損失）となった。これは主に、上述の営業損失が拡大したことなどによるもの。
- コア営業損益¹は 1,240 百万円の損失（前年同四半期（2021 年 1 月-3 月）は 683 百万円の損失）となった。
- 2022 年 3 月 31 日における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 1,023 百万円減少し、59,064 百万円となった。

以上

¹ コア営業損益は、中核事業の経常的なキャッシュ創出能力を示すために、重要な非現金支出費用や一時的な費用を調整した代替的な業績評価指標

A dark blue horizontal banner with a white circle on the left side containing the text "PRESS RELEASE".

PRESS RELEASE

Sosei Heptares について

当社グループは、G タンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR®技術ならびに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオハイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK 社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社、Verily 社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR®は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](#)

Twitter: [@soseiheptaresco](#)

YouTube: [@soseiheptaresco](#)